

性同一性障害:問題点や課題語る 中塚教授、松江で講演 / 島根

毎日新聞 8月3日(金)15時51分配信

心と体の性別が一致しない性同一性障害(GID)をテーマにした講演会が1日夜、松江市の県民会館であった。GID学会理事長で、岡山大大学院教授の中塚幹也医師＝写真＝が「性同一性障害の社会的課題」と題し、現在の社会が抱える問題点や今後の課題などを語った。

GIDに関する啓発活動などを行っている「紫の風」と県が主催した。中塚さんはこれまでの研究で、患者の半数近くが就学前に性別的な違和感を感じていると説明。「思春期になると体の変化もあり、不登校や自殺につながる場合もある。GIDの子どもをうまく導く必要がある」と学校における指導の重要性を説いた。

紫の風代表の上田地優(ちひろ)さんが国民健康保険証の性別記載の変更を市に要請していることにも触れ、「(戸籍の性別変更に必要な)性別適合手術をしない人も多い。上田さんが道をつけることで、解決する部分もある」と評価した。

講演に先立ち上田さんも現状を報告し、「周囲が広い心で『いろんな生き方がある』と思ってもらえるといい。これが私なりの男女共同参画です」と話した。【曾根田和久】

8月3日朝刊